

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成26年12月4日に陸奥湾2定点で付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。※4~9月は久栗坂・川内のみ

1 ラーバの出現数

ユウレイボヤラーバの出現数の推移は図1のとおりで、久栗坂沖で9.4個/トン、川内沖で4.7個/トンでした。(他の地区は次回情報掲載予定)

オベリア類(通称クサ)のクラゲは、久栗坂沖、川内沖とも見られませんでした。(図2)

その他の付着生物のラーバ等の出現数は表1のとおりで、ザラボヤ、ネンエキボヤは見られませんでした。(キヌマトイガイラーバは年明け以降まで出現しないと思われます)

なお、マボヤラーバが久栗坂沖で4.4個/トン、川内沖で2.3個/トン見られました

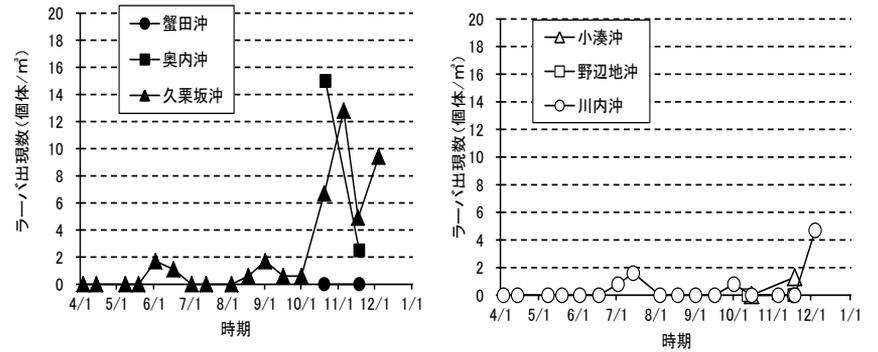


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移

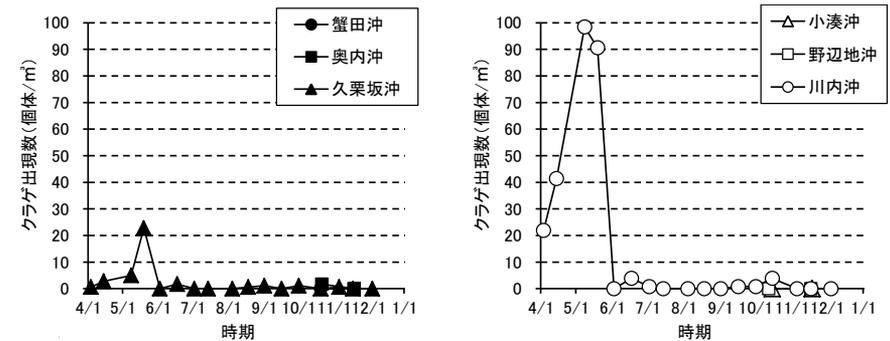


図2 オベリア類(通称クサ)のクラゲ出現数の推移

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ネンエキボヤ	オベリア類	キヌマトイガイ
久栗坂沖	H26.12.4	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0
川内沖	H26.12.4	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

表2 各ブイの中層における日平均水温(12/8)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	14.0	東田沢ブイ		浜奥内ブイ	10.3
蓬田ブイ		清水川ブイ		川内ブイ	
奥内ブイ		野辺地ブイ	10.8	脇野沢ブイ	
青森ブイ	12.7	東湾ブイ	11.0		
浦田ブイ					

※奥内、浦田、野辺地、浜奥内は10m層、それ以外は15m層の値

2 水温の状況

各ブイの12月8日の平均水温は、表2のとおりです。

3 今後の見込み

ユウレイボヤのラーバの出現数はピークを過ぎたと思われますが、西湾・東湾ともややまとまった数が見られています。まだ、少ない数ですがパールネット(※)に成熟したユウレイボヤが残っており、ラーバの養殖施設への付着はもう少しの間続くものと思われます。

また、オベリア類のクラゲは今回見られませんでした。前回まで散発的に見られていることや、今月パールネット(※)へ付着したオベリア(通称クサ)が確認されたことから、今後増加して来るものと思われるので注意して行く必要があります。

養殖施設のネンエキボヤも同様に、今月パールネット(※)に小さな群体が付着しているのが確認されたので、継続して観察して行きます。

今後のラーバ等の出現動向、付着状況については、次回(12月下旬発行予定)の情報を参考にしてください。

(※)いずれも久栗坂・川内実験漁場のパールネット



写真1 ユウレイボヤの浮遊幼生



写真2 オベリア類のクラゲ

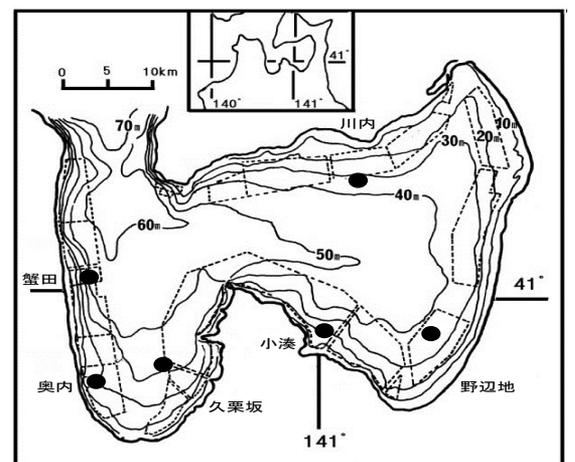


図3 ラーバ調査地点

